ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ

公益財団法人日本テニス協会

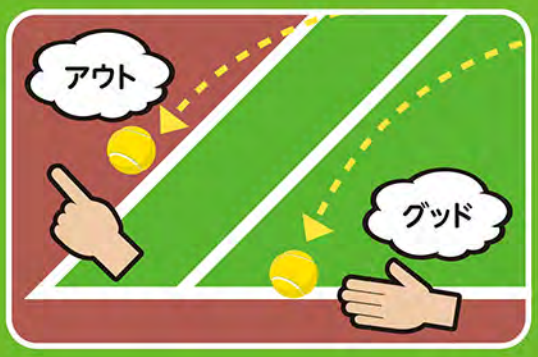
テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い

フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ５原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

1. 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
2. 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
3. サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
4. ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
5. コートの外の人は、セルフジャッジへの口出しはしない!

保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアーな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしくお願いします。